

指定管理者制度活用事業 総括評価シート

評価年月日：令和7年3月18日

評価者：健康福祉局指定管理者選定評価委員会

1. 業務概要

施設名	中部リハビリテーションセンター中部地域生活支援センター
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
業務の概要	<p>(1) より特段の配慮や支援を有する障害者を含む対象者に対して、以下の業務を行うこと</p> <p>ア 障害者総合支援法第5条第16項に規定された一般相談支援及び特定相談支援事業</p> <p>イ 障害者総合支援法第5条第25項及び川崎市地域活動支援センターA型運営事業実施要綱に規定された地域生活支援センター事業（ただし、第5条第4項は除く）</p> <p>ウ 川崎市精神障害者地域移行・地域定着支援体制整備事業に係る業務</p> <p>(2) 関係機関のバックアップや、地域拠点として地域全体の支援やサービスの質の向上に資する取組</p> <p>(3) 共有会議室を利用した交流促進事業に係る業務</p> <p>(4) その他本事業の設置目的を達成するために必要な業務</p>
指定管理者	<p>名称：社会福祉法人 川崎聖風福祉会</p> <p>代表者：理事長 野神 昭雄</p> <p>住所：川崎市川崎区池上新町3-1-8 電話：044-288-5401</p>
所管課	健康福祉局障害保健福祉部障害者施設指導課（内線：33713）

2. 「評価の視点」に基づく事業期間全体の評価

	評価項目	事業実施状況等
1	市民や利用者に必要な量及び質のサービスを提供できたか。	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害のある利用者に対し、チームでの支援体制を構築するとともに、総合リハビリテーション推進センターや病院などの関係機関との連携・協力によって顔の見える関係づくりを重視した支援を実施した。 地域活動支援センター事業において、令和3年度から始めた女子会の取組により、令和5年度には女性利用者が令和2年度と比較して年間175人も増加した。また、令和5年度には登録者の更新面談を実施し、登録情報の更新を行うことに加え、利用者の生活状態についての詳細な聞き取りを実施した。 市内の地域活動支援センターで唯一の精神障害者地域移行・地域定着支援体制整備事業を実施しており、病院などの関係機関と連携を取りながら、通常の地域移行が困難な利用者に対して訪問を行うことで、令和3年度は2人、令和4年度は3人、令和5年度は2人を地域移行することができた。 ピアサポート活動支援事業では、ピアサポーターと協働して田園調布学園大学社会福祉学科の学生と交流講座を実施し、その他にも川崎市看護協会の認定訪問看護研修への参加や市民後見人講座等への講師派遣を行った。 要望や苦情への回答は迅速かつ誠実に対応することに加え、それらの背景となるものを職員間で意見交換しながら協議し、問題の早期解決に努めている。また、月1回開催している利用者ミーティングでも周知するとともに、要望や苦情を適切に支援に反映させている。
2	当初の事業目的を達成することができたか。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の心情を中心に家族を含む本人を取り巻く生活環境に着目しながらアセスメントを行うとともに、日頃の関わりから信頼関係を積み上げ、希望する生活の実現に向けたケースマネジメントを行うことで、利用者の地域生活のための支援の促進に寄与した。
3	特に安全・安心の面で問題はなかったか。	<ul style="list-style-type: none"> 中部リハビリテーションセンター全体で合同の防災対策会議を行うとともに、シチュエーションを想定して合同での避難訓練も実施した。 事故等の重大案件の発生時には、川崎市をはじめ、法人本部等へ速やかに報告を行うとともに、職員間で速やかに情報共有を行う体制を整えている。また、発生した事故に対しては再発防止策を協議し、再発防止に努めるなど、事故防止に向け取り組み、安全・安心の面で大きな問題はなかった。

4	更なるサービス向上のために、どういった課題や改善策があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・築8年が経過したことにより、施設の附属設備の故障や不具合が発生してきていることから、施設・設備機能の維持・改善を行っていく必要がある。 ・前指定期間と比較し、相談件数が増加してきているため、様々なニーズに答えられるように相談支援専門員の増員及び支援の質の向上が求められる。
---	--------------------------------	--

3. これまでの事業に対する検証

	検証項目	検証結果																																			
1	所管課による適切なマネジメントは行われたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者から年度及び四半期ごとに提出される事業報告書等によるモニタリングのほか、適宜、管理運営状況の実施状況調査（現地ヒアリング含む）を行った。 ・管理運営上の問題発生時の指導、施設の適正な管理運営に必要な調整・協議・指導を実施するなど、適切なマネジメントを行った。 																																			
2	制度活用による効果はあったか。	<p>（サービスの向上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員ミーティングにおいて、週1回スーパーバイザーからのアドバイスを得ながら、支援困難ケースに対する事例検討や施設運営で生じる課題の共有や解決に取り組むことで、民間事業者ならではの利用者へ提供するサービスの質の向上を図っている。 ・法人内の他事業所とともに、地域移行・地域定着支援への取組についての勉強会を令和4年度には4回、令和5年度には5回実施することで、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、身近な社会資源ネットワークを基盤に、重層的かつ質の高い支援体制づくりを図った。 <p>（利用実績）</p> <table border="1" data-bbox="520 826 1426 1003"> <thead> <tr> <th></th> <th>前指定期間 平均</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>5,775件</td> <td>6,309件</td> <td>7,163件</td> <td>6,586件</td> </tr> <tr> <td>登録者数 (各年度末時点)</td> <td>127名</td> <td>163名</td> <td>181名</td> <td>194名</td> </tr> </tbody> </table> <p>（経費の節減）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定した収入により、経営状態は総じて良好な状況となっている。 <p>【収支状況】（単位：円）</p> <table border="1" data-bbox="520 1122 1426 1330"> <thead> <tr> <th></th> <th>前指定期間 平均</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入合計</td> <td>38,954 千円</td> <td>40,174,680</td> <td>40,366,521</td> <td>40,467,070</td> </tr> <tr> <td>支出合計</td> <td>35,614 千円</td> <td>37,381,307</td> <td>39,037,705</td> <td>38,105,970</td> </tr> <tr> <td>収支</td> <td>3,340 千円</td> <td>2,793,373</td> <td>1,328,816</td> <td>2,361,100</td> </tr> </tbody> </table>		前指定期間 平均	R3	R4	R5	相談件数	5,775件	6,309件	7,163件	6,586件	登録者数 (各年度末時点)	127名	163名	181名	194名		前指定期間 平均	R3	R4	R5	収入合計	38,954 千円	40,174,680	40,366,521	40,467,070	支出合計	35,614 千円	37,381,307	39,037,705	38,105,970	収支	3,340 千円	2,793,373	1,328,816	2,361,100
	前指定期間 平均	R3	R4	R5																																	
相談件数	5,775件	6,309件	7,163件	6,586件																																	
登録者数 (各年度末時点)	127名	163名	181名	194名																																	
	前指定期間 平均	R3	R4	R5																																	
収入合計	38,954 千円	40,174,680	40,366,521	40,467,070																																	
支出合計	35,614 千円	37,381,307	39,037,705	38,105,970																																	
収支	3,340 千円	2,793,373	1,328,816	2,361,100																																	
3	当該事業について、業務範囲・実施方法、経費等で見直すべき点はないか	<ul style="list-style-type: none"> ・当該施設は、地域活動支援センター事業や精神障害者地域移行・地域定着支援体制整備事業、障害に対する理解促進のための普及啓発等の事業を実施するとともに、地域の様々な主体の連携拠点として、地域全体の支援やサービスの質の向上に貢献していく役割が求められているため、引き続き職員の更なるスキル向上に努めていく必要がある。 																																			
4	指定管理者制度以外の制度を活用する余地はないか	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化するニーズや、施設の設定目的に沿うサービスを効率・効果的に実施していくとともに、民間施設では受け入れることが困難な方や、法制度の狭間で支援対象とならない方に対して、専門的な支援を継続的に行っていく必要があることから、引き続き指定管理者制度により運営することが望ましい。 																																			

4. 今後の事業運営方針について

<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の公募にあたっては、指定管理者が変更となった場合に、人材確保と引継ぎのための十分な期間を確保するため、3か月程度公募期間の前倒しを行い、引継ぎに要する予算及び期間（6か月）を確保する。また、仕様書の内容の見直しなどを行った上で、多くの事業者が参画しやすいよう広く周知を行う。 ・利用者や地域支援者のニーズに寄り添いながら、施設の設定目的に沿うサービスを適切に提供していくため、職員の更なるスキル向上に努めていく必要がある。
--